

令和7年度 保育所自己評価

園名 吹田市立千里山保育園

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。このことに基づき、公立保育園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標
げんきなこども ともだちだいすきなこども

評価結果の表示方法

A・・・十分達成されている。 B・・・達成されている。 C・・・取り組まれているが、成果が十分でない
D・・・取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	A	全職員で子供の人権に関する振り返り、話し合いをしながら、理念にそって保育を進めた。
こどもの発達援助	A	子供の姿や手立てを話し合い、保育を行った。
保護者との連携	A	保護者と日常の中での対話を大切にしながら信頼関係を作り、ともに子育てをした。
地域との連携	A	地域の活動を途切れないように工夫しながら、子育て支援を行った。
運営・管理、社会的責任	A	職員間での連携を取りながら、保育した。またコミュニケーションを大切に、風通しの良い職場作りを意識した。
職員の資質向上	A	園内研修でお互いの保育を見て学び合うことで、保育の質の向上をはかった。
安心・安全	A	定期的にヒヤリハット事案や事故事案を共有し、再発防止に努めた。

今年度の評価	
安心・安全な保育	大規模修繕工事中は、安心・安全な保育の実施のため、こまめに話し合いを持ち工夫をしながら、保育を行った。
身体作り	一年間身体作りに視点を置き、振り返り、検討しながら保育を進めた。
来年度の目標	
安心・安全な教育保育 描画活動の充実	